

平成 18 年 8 月 10 日

各 位

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（非連結）

上場会社名 健康コーポレーション株式会社  
 代表者 代表取締役社長 瀬戸 健  
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス  
 本社所在地 東京都中野区中央二丁目 9 番 1 号  
 問合せ先 取締役経営企画部長 佐野 賢一郎  
 電話番号 03-5348-7572  
 U R L <http://www.kenkoucorp.co.jp>

1. 概況

(1) 平成 19 年 3 月期第 1 四半期の業績（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 6 月 30 日）

	平成18年3月期 第1四半期 (前年同期)	平成19年3月期 第1四半期 (当四半期)	対前年増減率	前期(通期)
	千円	千円	%	千円
売上高	—	1,654,682	—	2,429,404
営業利益	—	37,095	—	182,801
経常利益	—	29,197	—	163,117
第1四半期(当期)純利益	—	13,079	—	94,484
総資産	—	1,232,884	—	502,360
株主資本	—	394,507	—	172,491

平成 18 年 3 月期第 1 四半期は、四半期財務諸表を作成しておりませんので、実績および対前年増減率の記載を省略しております。

(2) 部門別売上高

	平成18年3月期 第1四半期		平成19年3月期 第1四半期		対前年 増減率	前期(通期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	千円	%	千円	%	%	千円	%
カロリーコントロール用健康食品事業	—	—	1,640,849	99.2	—	2,355,776	97.0
その他健康食品事業	—	—	13,832	0.8	—	73,627	3.0
合計	—	—	1,654,682	100.0	—	2,429,404	100.0

平成 18 年 3 月期第 1 四半期は、四半期財務諸表を作成しておりませんので、実績および対前年増減率の記載を省略しております。

## 2. 業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

### (1) 概況

当第1四半期会計期間（平成18年4月～平成18年6月）におけるわが国経済は、企業収益の改善、設備投資の増加が見られ景気は回復基調で推移いたしました。

こうした経営環境のもと、当社は「豆乳クッキーダイエット」を主力商品に据え、楽天市場などインターネットに加え、折込チラシなどの紙媒体やテレビショッピングの映像媒体などの広告媒体の多様化を図り引き続き積極的な販売拡大に注力いたしました。

これらの結果、当第1四半期の業績は、売上高1,654,682千円、営業利益37,095千円、経常利益29,197千円、第1四半期純利益13,079千円となりました。なお、前年の第1四半期会計期間の四半期財務諸表は作成していないため、前年同期との比較分析は行っていません。

### (2) セグメント別の概況

#### ① カロリーコントロール用健康食品事業

肥満による健康上の弊害が広く知られるようになり、これを改善するための食事摂取カロリー制限を助けるカロリーコントロール用健康食品として、当社主力商品「豆乳クッキーダイエット」は、顧客ニーズを捉え、引続き好調に推移しております。

また、広告媒体の多様化を図り積極的な販売拡大に注力いたしました。

その結果、売上高は1,640,849千円となりました。

#### ② その他健康食品事業

その他の健康食品事業においては、主力商品である「濃縮大豆胚軸」の商品コンセプトの変更などを企図しており、広告宣伝を抑制した結果、売上高は13,832千円となりました。

### (3) キャッシュフローの状況

キャッシュフローの状況については、当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末より188,864千円増加し、376,119千円となりました。

なお、各キャッシュフローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュフローは、税引前第1四半期純利益22,652千円、未払金の増加488,716千円、仕入債務の増加45,879千円、及び返品引当金の増加22,261千円などがある一方で、売上債権の増加469,744千円、前渡金の増加37,571千円、未払消費税等の減少32,165千円、及び法人税等の支出33,903千円などにより3,469千円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュフローは、本社オフィス移転に伴う有形固定資産の取得による支出10,254千円、敷金保証金の払込による支出6,290千円及び敷金保証金の払戻による収入3,080千円などにより13,790千円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュフローは、株式の発行による収入206,124千円により206,124千円

となりました。

3. 平成19年3月期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の業績の見通し

通期の業績につきましては、売上高6,655,031千円（前期比173.9%増）、経常利益425,878千円（前期比161.1%増）、当期純利益243,458千円（前期比157.7%増）を見込んでおります。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
通 期	千円 6,655,031	千円 425,878	千円 243,458

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

#### 4. 四半期財務諸表

##### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）に準じて四半期財務諸表、すなわち四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期株主資本等変動計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

##### 2. 四半期財務諸表に対する意見表明について

当社は、平成19年3月期第1四半期会計期間の四半期財務諸表について、監査法人の監査を受けておりません。

ただし、この四半期財務諸表については、証券会員制法人札幌証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則の取扱い」2の3(3)の規定に基づき、同取扱いの別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく意見表明のための手続を必ず監査法人より受け、「四半期財務諸表に対する報告書」を入手しております。

##### 3. 会計方針の変更

###### (返品引当金)

従来、返品に伴う損失は、返品を受けた期間の売上高の控除として処理しておりましたが、当期に入って返品額の重要性が増加してきたことから、より適正な期間損益計算を図るため、当第1四半期から、過去の返品実績率に基づく将来の返品損失見込額を返品引当金として計上する方法に変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益、営業利益及び経常利益がそれぞれ16,044千円、税引前第1四半期純利益が22,261千円減少しております。

###### (貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

当第1四半期会計期間から、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。

従来の資本の部の合計に相当する金額は、394,507千円であります。

なお、中間財務諸表等規則の改正により、当第1四半期会計期間における四半期貸借対照表の純資産の部については、改正後の中間財務諸表等規則により作成しております。

## 4. 添付書類

## ① 【四半期貸借対照表】

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日現在)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	376,119		187,254	
2 売掛金	648,283		178,538	
3 たな卸資産	74,435		63,143	
4 前渡金	78,181		40,610	
5 前払費用	3,301		3,287	
6 繰延税金資産	12,700		6,043	
7 未収入金	2,084		34	
8 その他	75		—	
貸倒引当金	△5,160		△1,407	
流動資産合計	1,190,021	96.5	477,503	95.1
II 固定資産				
1 有形固定資産	16,283	1.3	6,858	1.4
2 無形固定資産	3,339	0.3	3,203	0.6
3 投資その他の資産				
(1)関係会社株式	10,000		10,000	
(2)長期前払費用	5,871		640	
(3)繰延税金資産	27		23	
(4)敷金保証金	7,310		4,100	
(5)その他	30		30	
投資その他の資産合計	23,239	1.9	14,794	2.9
固定資産合計	42,862	3.5	24,857	4.9
資産合計	1,232,884	100.0	502,360	100.0

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日現在)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 買掛金	63,503		17,624	
2 未払金	717,530		228,813	
3 未払費用	11,655		9,105	
4 未払法人税等	16,714		33,903	
5 未払消費税等	4,311		36,476	
6 預り金	1,704		931	
7 賞与引当金	697		3,014	
8 返品引当金	22,261		—	
流動負債合計	838,377	68.0	329,869	65.7
負債合計	838,377	68.0	329,869	65.7
(資本の部)				
I 資本金	—	—	11,000	2.2
II 利益剰余金				
1 当期末処分利益	—		161,491	
利益剰余金合計	—	—	161,491	32.1
資本合計	—	—	172,491	34.3
負債及び資本合計	—	—	502,360	100.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	101,610		—	
2 資本剰余金	118,326		—	
3 利益剰余金	174,571		—	
株主資本合計	394,507	32.0	—	
純資産合計	394,507	32.0	—	—
負債及び純資産合計	1,232,884	100.0	—	—

② 【四半期損益計算書】

区分	当第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)			前事業年度の要約損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		
	金額(千円)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		1,654,682	100.0		2,429,404	100.0
II 売上原価		204,477	12.4		286,291	11.8
売上総利益		1,450,204	87.6		2,143,112	88.2
III 販売費及び一般管理費		1,413,109	85.4		1,960,311	80.7
営業利益		37,095	2.2		182,801	7.5
IV 営業外収益		567	0.0		596	0.0
V 営業外費用		8,464	0.4		20,281	0.8
経常利益		29,197	1.8		163,117	6.7
VI 特別利益		—	—		771	0.0
VII 特別損失		6,545	0.4		1,764	0.0
税引前第1四半期(当期)純利益		22,652	1.4		162,124	6.7
法人税、住民税及び事業税	16,233			68,213		
法人税等調整額	△6,660	9,572	0.6	△573	67,640	2.8
第1四半期(当期)純利益		13,079	0.8		94,484	3.9
前期繰越利益		—			67,007	
当期末処分利益		—			161,491	

③ 【四半期株主資本等変動計算書】

当第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
前期末残高	11,000	—	161,491	172,491	172,491
当第1四半期変動額					
新株の発行	90,610	118,326	—	208,936	208,936
第1四半期純利益	—	—	13,079	13,079	13,079
当第1四半期の変動額合計	90,610	118,326	13,079	222,015	222,015
当第1四半期末残高	101,610	118,326	174,571	394,507	394,507

## ④ 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

	当第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1 税引前第1四半期(当期)純利益	22,652	162,124
2 減価償却費	883	2,911
3 長期前払費用償却費	648	475
4 貸倒引当金の増加額	3,752	404
5 固定資産除却損	136	—
6 固定資産売却益	—	△771
7 受取利息	—	△2
8 支払利息	—	229
9 新株発行費	2,811	509
10 売上債権の増加額	△469,744	△53,133
11 たな卸資産の増加額	△11,292	△28,711
12 前渡金の増加額	△37,571	△37,844
13 前払費用の増加額	△14	△1,350
14 未収入金の増減額	△2,050	5,994
15 長期前払費用の増加額	△5,880	—
16 仕入債務の増減額	45,879	△7,188
17 未払金の増加額	488,716	81,207
18 賞与引当金の増減額	△2,317	1,747
19 返品引当金の増加額	22,261	—
20 未払費用の増加額	2,549	190
21 前受金の減少額	—	△58
22 預り金の増減額	772	△3,678
23 未払消費税等の増減額	△32,165	36,476
24 その他	405	△457
小計	30,434	159,074
25 利息及び配当金の受取額	—	2
26 利息の支払額	—	△229
27 法人税等の支払額	△33,903	△87,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,469	71,678
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1 定期預金の払戻による収入	—	850
2 関係会社株式の取得による支出	—	△10,000
3 有形固定資産の売却による収入	—	1,809
4 有形固定資産の取得による支出	△10,254	△5,997
5 無形固定資産の取得による支出	△326	△3,600
6 敷金保証金の払戻による収入	3,080	384
7 敷金保証金の払込による支出	△6,290	△990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,790	△17,543

	当第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 株式の発行による収入	206,124	1,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	206,124	1,491
Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額	188,864	55,625
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	187,254	131,629
Ⅵ 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	376,119	187,254